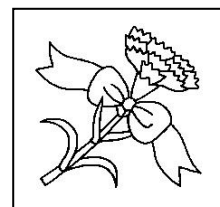


ぷらう58号



発行：TEACCH プログラム研究会

会長のつぶやき

発達障害ブーム

TEACCH プログラム研究会会長 内山 登紀夫

5年間のうちに発達障害者支援法が改正され「社会的障壁」の除去、乳幼児期から高齢期まで切れ目のない支援や教育・福祉・医療・労働などが緊密に連携すること、司法手続きで意思疎通の手段を確保することなどが強調されるようになった。NHKをはじめ、多くのマスメディアで発達障害が繰り返し特集されている。

心理職の方には周知のように公認心理師制度が開始された。私は臨床心理士教育には20年近く関わってきた。自らも公認心理師の資格をとるために4日間の「現任者講習」に参加したが、そこで提示される事例の多くが発達障害が想定されていることに驚いた。

また現任者講習における教育分野での連携では「チーム学校」が強調されていて、「子どもと環境の相互作用に焦点をあてる生態学的アセスメントを基盤とする」とあって、それはその通りであり、TEACCHの考え方とも一致する。しかしながら、私の経験では学校が外部の「専門家」に求めるものは「子ども単独のアセスメント」とか「カウンセリング」だったりすることが非常に多い。意識高いはず？の大学教育系学部の付属でも、そうだったりする。TEACCHにおける学校コンサルテーションでは教室の構造を始め、子どものアセスメントや課題設定まで、多様で相互的な支援を行う。日本の特別支援教育でもTEACCHの考え方は導入されつつあるが、実際に学校側が求めているのはPEPやTTAPなどの評価だけということも生じている。

現在でも臨床心理の領域における自閉症支援は相変わらず親担当、子担当にわかれて「伝統的な」遊戯療法が行われることが多い。精神医療の分野に目を向けるとPARSなどの検査が保険適用になったりと医療制度の中にも少しずつ発達障害が認知されてきた。

特別支援教育、臨床心理、精神科医療でも、現状は伝統的な治療の枠組みを変えずに発達障害というニューカマーを支援しようとしているように見える。福祉の分野では放課後等デイサービスや就労移行支援などの新しいサービス制度のもとで発達障害の子どもや大人が適正な支援を受けられるかどうかの問題になっている。

TEACCHプログラムを日本で活かすためには、個々のアセスメントに基づいて子どもにあった環境を設定するという原点を忘れてはならないだろう。PEPやTTAP、CARSなどのツールはあくまで、その目的を達成するための手段であることは会員にとっては当然のことだと思うが、PEPやTTAPをやればTEACCHだと思っている支援者も多いのが実情である。私たちのやるべきことは、まだまだ沢山ある。

TEACCH プログラム研究会 平成 30 年度第 1 回理事会議事録

日時 平成 30 年 2 月 23 日(金) 18 時 30 分～22 時

場所 ベーコンラボ京都駅前

参加者 内山 宇山 諏訪 黒田 笠合 片山 堀内 中井 益本 小川 鎌田 小沢 永富 森田 高原
内田 瀬尾 三ヶ田 下田 岡本 今村

欠席者 村松理事 山田(神奈川支部)

【議案 1】 理事及び役割の確認

- 新理事紹介： 山田様(神奈川支部), 長富様(大阪支部)
- 役割の確認： 総会報告参照

【議案 2】 鹿児島支部設立について(準備会 代表 吉田様 事務局 本田様)

- 吉田様より設立の経緯等報告
 - ・長年, 学びたい希望があり, 熊本支部の学習会などに参加していた。
 - ・若い人からも強い要望があった。
- 本田様より研修会等の実施状況
 - ・「TEACCH 自閉症プログラムとは」等をテーマとした学習会を数回開催している。
- 質疑
 - ・3 月から活動開始予定か? → 開始します。
 - ・運営委員は何名? → 5 名
 - ・会員数 → 23 名。広域で小グループが県内に点在しており, 各グループの代表が運営委員となっている。
 - ・予算について(支部会費 2,000 円と 4,000 円の違い) → 今後TEACCHプログラム研究会会則に基づいた会費の徴収に準じることに異存はない。
 - ・正会員, 賛助会員とは → 確認して後日回答。予算書の修正等, 計画書類等の作成にあたり他の文書からの引用による記載が残っていたもの。よって, 記載を変更しTEACCHプログラム研究会会則に基づいた会運営に準じることに異存はない。
- 理事賛成多数により承認

【議案 3】 実践研究大会 2019in 山梨について

- 日付の修正 2019 年 2 月 10 日(日)～11 日(月)で開催
- 2018 年ぷらう秋号の発行に合わせて周知を行う。
- 大会テーマと講演講師について検討
 - ・本田先生, 平野氏の対談を候補として調整を進めている。パネリスト形式はこれまでにあまりなく良いのでは。
 - ・TEACCH プログラムそのものを主テーマとしなくても, TEACCH 研を知ってもらえる機会となるのでは。
 - ・大会テーマ 広く解釈のできるテーマに。支部としての思い。(案)「にじいろ子育て」→本田先生に確認
 - ・実践発表ケースを東京, 神奈川, 愛知, 山梨から推薦(他支部もあれば)。コラボセミナーにて保留となった報告(北海道, 東京)も含めて山梨支部で検討し選出。
 - ・初日の対談は公開で, 2 日目の実践研は会員のみ。(新規入会者も参加可, キャンパ次第)

【議案 4】 平成 29 年度活動報告(P4「総会報告」参照)

【議案 5】 各支部事業・会計報告

- 熊本支部：就労支援に関して学びたいとの声が多くあり、障がい者就労支援研究会との共催で企画をしている。今後も他会との連携を深め相互の会員の交流を図る。

【議案 6】 会計報告・特別会計報告

- 平成 29 年度会計報告について確認。特別会計への繰り越しは今年度については行わない。
- 本年度より、土倉事務所と事務局のお互いの会計を突合させ、他会計報告書及び貸借対照表による会計処理を行う。
- 平成 30 年度で、会計処理について整理をしていく。

【議案 7】 総務委員会報告

- 会計処理の滞りや名簿管理の滞りなど近年の土倉事務所の対応に問題があることを確認。改めて契約書を作成し、業務内容の取り決めを明文化して契約締結し、確実な履行を求める。改善が見られない場合、契約解除および別の事務所に委託する可能性も含め調整を行う。財務管理上、不要な経費を削減するため、退会者の期限・理事会開催・総務委員会開催・事業展開等について、会則の検討と運営を総務委員会で精査し、理事会に諮る必要がある。

【議案 8】 コラボレーションセミナー

- 新規入会と同時に参加する方が 50 名ほどいる。

【議案 9】 平成 30 年度 広報・啓発活動について

- 自閉症カンファレンスポスターセッション報告。
 - ・TEACCH研ブースにいて、来場者とのやり取りを行うことが啓発として最も効果的。
 - ・どういう立場(職種等)の会員が多いか、学習会等の企画の参加費等について来場者からの質問として多くあり、支部紹介チラシの内容に反映させていく。
 - ・啓発に関しては、予算も関連するため、総務委員会としても、収入を増やす、支出を抑える、会員を増やすことについて検討していく。

【議案 10】 平成 30 年度活動計画(P4「総会報告」参照)

【議案 11】 平成 30 年度予算(案) 一般会計及び特別会計(P4「総会報告」参照)

【議案 12・13】 次回トレーニングセミナー、実践研究大会 2021 の開催について

- 担当する支部の負担と、メリットとそれぞれあると思うが、開催規模や内容も柔軟に検討し、積極的に取り組めるように形を作っていく必要がある。
- 各支部で、トレセミ、実践研を実施できる可能性(できる条件をポジティブに検討)を検討し、次回理事会・総務委員会までに各支部の意見(各支部で開催するための計画)を報告。

【議案 14】 総会議案

●会則変更について(P24「会則」参照)

※30 年度に関しては、総務委員会の開催、活動を強化し、理事会の開催を一回とする。それに伴って、会則を変更する。総務委員会の開催において、今後の会の方向性と土倉事務所との各種調整等を行い、必要に応じて理事会に諮る。

※ウェブ会議についても検討する。

- リーフレットも支部数や会員数を更新する。(P22「リーフレット」参照)

【議案 15】 ぷらう 58 号

- 記事内容案 会長のつぶやき, 総会報告, コラボセミナー運営報告・参加報告(山梨, 福岡, 香川)等
- 実践発表者からのコメントもあれば。(京都支部で調整)

TEACCH プログラム研究会 平成30年度 総会報告

日時:平成 30 年 2 月 24 日(土)16 時 30 分～

場所:京都烏丸コンベンションホール

議案 1 平成 30 年度理事および役割の確認(案) (事務局) ☆…新理事

支部	平成 30 年度の役割	平成 29 年度の役割	理事氏名
常任	会長 講師招聘事業	会長 講師招聘事業	内山登紀夫
常任	副会長 講師招聘事業	副会長 講師招聘事業	村松 陽子
常任	副会長 HP 研修(トレセミ, 実践研)	副会長 HP 研修(トレセミ, 実践研)	宇山 秀一
常任	研修(トレセミ, 実践研)	研修(トレセミ, 実践研)	諏訪 利明
常任	広報・啓発担当	広報・啓発担当	笠合 竜明
常任	講師招聘事業 JDD ネット代議員	講師招聘事業 JDD ネット代議員	黒田 美保
北海道			片山 智博
東京			堀内 太郎
神奈川			☆山田 兼右
山梨	実践研究大会		中井百合子
石川			益本 尚子
愛知			小川 真紀
滋賀			鎌田 博之
京都		コラボレーションセミナー	小沢 綾
大阪			☆長富 義隆
鳥取			森田 礼子
香川	広報	広報	高原 淳一
福岡			内田 博昭
佐賀			瀬尾 裕子
大分			三ヶ田智弘
熊本	事務局	事務局	下田 祐輝
会計	本部会計 特別会計	本部会計・特別会計	岡本美由紀 今村三奈子
監事	本部会計監査 特別会計監査	本部会計監査 特別会計監査	水野 敦之 原崎 知之

議案 2 鹿児島支部設立について (事務局・発起人)

- ・平成 30 年度第 1 回理事会において鹿児島支部設立を承認
- 代表 吉田 光一(TEACCH プログラム研究会鹿児島支部設立準備会 支部理事・支部長)
- 本田 康記(TEACCH プログラム研究会鹿児島支部設立準備会 監事)

議案 3 実践研究大会 2019 in 山梨 について (山梨支部代表) P22 参照

- ・日時 2019 年 2 月 10 日(日)～11 日(月)
- ・山梨県立図書館 イベントスペース
- ・甲府市北口2-8-1(甲府駅北口徒歩3分)

議案 4 平成 29 年度活動報告（事務局）

- 2月18日 平成29年度第1回理事会(神奈川)
- 2月18日～19日 実践研究大会 in 神奈川 2017(神奈川)
- 2月19日 平成29年度総会
- 4月 機関誌『ぷらう』56号(春)発行
- 7月16日 平成29年度第2回理事会(京都)
- 8月22日～23日 自閉症カンファレンス NIPPON2017 のポスタ
- 10月 機関誌『ぷらう』57号(秋)発行

議案 5 平成 29 年度会計報告, 特別会計報告（会計:岡本, 会計監査役）

平成29年度 TEACCHプログラム研究会 会計報告	
* 会計年度 平成29年1月1日～平成29年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金	¥1,220,168
会費	¥2,957,000
利息	¥6
合計	¥4,177,174
<支出>	
名簿及び会費管理費(土倉事務所業務委託費) [4460×1,978名+¥300×170名 +¥700×17+¥77,822(消費税)]	¥1,050,602
理事会交通費(2回分)	¥1,124,182
理事会会議費(2回分)	¥50,608
JDD年会費	¥121,760
通信費	¥150,804
支払手数料(振込手数料)	¥218,690
コンビニ振込用紙	¥16,740
郵便振込用紙印字	¥1,102
雑費(事務局用品・コピー代等)	¥432
特別会計積立金	¥0
合計	¥2,734,920
<収支>	
収入¥4,177,174 - 支出¥2,734,920 = ¥1,442,254	
残金¥1,442,254 は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成30年2月18日 TEACCHプログラム研究会 会計担当 岡本美由紀	
平成30年2月21日 TEACCHプログラム研究会 会計監査	
 	

平成29年度 TEACCHプログラム研究会 特別会計積立金 会計報告	
* 会計年度 平成29年1月1日～平成29年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金	¥4,304,013
第18回トレーニングセミナーin大分運営費戻り分	¥102,288
実践研究大会2017年in神奈川運営費戻り分	¥368,000
利息	¥26
合計	¥4,774,327
<支出>	
第6回講師招聘事業運営費	¥3,000,000
支払手数料(振込手数料)	¥864
合計	¥3,000,864
<収支>	
収入¥4,774,327 - 支出¥3,000,864 = ¥1,773,463	
残金¥1,773,463は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成30年2月15日 TEACCHプログラム研究会 会計担当 岡本美由紀	
平成30年2月21日 TEACCHプログラム研究会 会計監査	
 	

議案 7 平成 30 年度活動計画(案)（事務局）

- 1月14日 総務委員会(京都)
- 2月23日 総務委員会(京都:土倉事務所)
- 2月23日 平成30年度 第1回理事会(京都)
- 2月24日～25日 コラボレーションセミナー2018 (京都)
- 2月24日 平成30年度総会
- 5月 機関誌『ぷらう』58号(春)発行
- 6月 平成30年度第2回理事会(京都)
- 8月25日～26日 自閉症カンファレンス NIPPON2018 のポスターセッションに参加
- 9月15日～16日 日本自閉症協会 第25回全国大会 in 広島
- 10月 機関誌『ぷらう』59号(秋)発行

議案 8 平成 30 年度予算案（会計：岡本）

TEACCHプログラム研究会 平成30年度予算(案)		TEACCHプログラム研究会特別会計 平成30年度予算(案)	
<収入>		<収入>	
前年度繰越金	¥1,442,254	前年度繰越金	¥1,773,463
資産 郵便局¥296,119+銀行¥307657	¥603,776	第5回講師招聘事業運営費戻り分	¥500,000
会費 (¥2,000×1,978名×0.8)	¥3,164,800	合計	¥2,273,463
入会金(¥1,000×150名)	¥150,000		
合計	¥5,360,830		
<支出>		<支出>	
名簿及び会費管理費(土倉事務所手数料)		実践研究大会2019年in山梨 運営費	¥500,000
(¥460×2,200名+¥300×200名		トレーニングセミナー 運営費	¥500,000
+ ¥700×15+ ¥86,600(消費税))	¥1,169,100	支払手数料	¥10,000
理事会交通費・宿泊費(2回)	¥1,500,000	予備費	¥1,263,463
理事会会議費(2回)	¥100,000	合計	¥2,273,463
総務委員会交通費(2回)	¥400,000		
総務委員会会議費(2回)	¥30,000		
広報費	¥100,000		
JDDネット年会費	¥130,000		
通信費	¥300,000		
HIP作成費・管理費	¥100,000		
雑費(事務局用品購入など)	¥30,000		
支払手数料(振込手数料)	¥250,000		
振込用紙(コンビニ・郵便振込)	¥20,000		
特別会計積立金	¥0		
予備費	¥1,231,730		
合計	¥5,360,830		

議案 9 会則変更 P24「会則」参照

議案 10 リーフレット改定 P22「リーフレット」参照

以上すべての議案は、総会において、可決されたことを報告いたします。

TEACCH コラボレーションセミナー2018 報告

コラボレーションセミナーを終えて【運営より】

常任理事 村松 陽子

今回の TEACCH コラボレーションセミナーは、2 年前のセミナーにも招聘を予定していたが叶わなかった TEACCH Autism Program のエグゼクティブディレクター、ローラ・クリンガー先生に来ていただくことができました。テーマは「成人期の支援」ということで、まず最初に TEACCH で支援してきた自閉症の人たちの追跡調査の結果を示していただきました。その内容は就労や生活にとどまらず、身体的健康や高齢化の問題まで幅広くカバーされたもので、それらの結果に基づいてどのような支援が必要かを考えるという TEACCH の科学的・実証的な姿勢を改めて認識することができました。そして午後には近年のニーズの変化に応じた新しいアプローチ法の紹介へと続き、日々進化し続ける TEACCH の支援に大いに刺激を受けました。

2日目の日本の実践報告は、重い知的障害のある方から、知的には遅れのないタイプの方まで、自閉症スペクトラムのタイプは様々でしたが、どの事例も丁寧に一人ひとりに合わせた支援を模索し創造している素晴らしいものでした。フロアを交えてのディスカッション、クリンガー先生のコメントもいただき、参加者それぞれが明日からの実践にヒントをもらったのではないのでしょうか。

2012 年に始まったコラボレーションセミナーも今回で 6 回目を迎えました。開催に至るまでには、TEACCH プログラム研究会各支部の皆さま、通訳の重松加代子さん、資料翻訳の鈴木正子さん、クリンガー先生初め TEACCH Autism Program の皆様、当日運営に尽力して下さる京都支部・大阪支部・滋賀

支部，そして毎回熱心に参加して下さる参加者の皆様など多くの方々の協力(コラボレーション)がありました。そして協力のあとには素晴らしい成果があると毎回感じさせてくれます。また 2 年後開催できるように企画準備をしていきますので，これからもご協力よろしくお願いします。

コラボレーションセミナーに参加して【発表者より】

神奈川支部 庄司 恵美子
(横須賀たんぼぼの郷 わたげ)

去る 2018 年 2 月 24 日～25 日，京都烏丸コンベンションホールにて，TEACCH コラボレーションセミナー 2018 が開催されました。講師として来日されたローラ・クリンガー博士からは，ノースカロライナにおける最新のアプローチについて学びました。クリンガー先生が最初にお話された，「現状で満足している状態ではなく，調査により，私たちの支援の質をどう変えれば，自閉症の方々がより質の高い生活が出来るのか」という言葉がとても印象的でした。そして調査を基に，時代とともに変わる ASD の性質の変化，求められる支援に，支援者側が柔軟に変化しながら対応し，様々なプログラムを取り入れており，大きな枠組みの中でも利用者主体を実践されていることに感銘を受けました。

2 日目には，国内での 4 つの実践報告を行い，その 1 つとして「家族を亡くした利用者を支える」というテーマで発表させていただきました。前夜の懇親会も含め，クリンガー先生をはじめ参加者の誰もが，年齢や立場に関係なく，支援に活かせることを学びたいという熱気に溢れていました。慣れない発表に緊張していた私でしたが，会場のこの温かい雰囲気の中で，様々な学びをすることができました。また，私の発表したテーマに対し，同じように悩みながら支援をした経験を持った方が声を掛けてくださったり，クリンガー先生からはノースカロライナでも同じ支援を展開しているというお話をいただき，私たちの行っている支援に自信を持つことができました。今回セミナーに参加し，全国のこんなにたくさんの方々が，同じ悩みや思いを持って支援にあたっているんだと，安心感とともに大きな励みとなりました。

セミナーの運営スタッフや後援のみなさま，このような機会を提供していただき，ありがとうございました。

TEACCH コラボレーションセミナー 2018 に参加して

山梨支部 齊藤 元宣

私にとっては TEACCH プログラム研究会のイベントに参加するのは初めての経験でした。こんなに多くの方が全国から集まり，最新の TEACCH の動向や実践報告を受けて互いに学び合おうという姿勢に感銘を受けました。

TEACCH Autism Program エグゼクティブ・ディレクターであるローラ・クリンガー博士の講演では，TEACCH が，当事者に寄り添い，一人一人への個別化された支援をしていくという理念は変わらず，現場での支援が推進されるような，新しい方法論，枠を超えた連携を進めている現状を聞くことができました。やはり，TEACCH の支援手法に説得力があるのは，学術的な実証研究の成果であり，より効果的な形を模索し続けているからであるように思います。

今回説明されていた T-STEP Program は，手法そのものというよりも，その手法を，どのタイミング・どの場所で提供していけば自閉症者・児にとってより良い結果につながるのか，その為にはどの組織と共同すれば実現できるのか，といったことがよく考えられたプロジェクトだと思いました。これは日本で自閉症児者を支援している我々にとっても，より良い支援をしていく為には組織の枠を超えた発想や他の組織との連携がもっと必要だというメッセージのようにも感じました。

実践報告では，佐賀，東京，神奈川，愛知支部の方が，様々な場面，多様な観点で，当事者に寄り添った支援を実践されているお話を聞くことができました。いずれも，自分の気付きや工夫を支援に反映して

いくというプロセスが見え、大変勉強になりました。素晴らしい報告有難うございました。

最後になりましたが、開催準備・運営にご尽力された京都支部の皆様にも一言、有難うございました&お疲れ様でした。

TEACCHコラボレーションセミナーでの学び

福岡支部 中村 友彰
(社会福祉法人未来駅 障がい福祉サービス事業所愛 支援員)

私は初めてTEACCHコラボレーションセミナーに参加しました。普段は就労継続支援B型事業で知的障がい・ASDのある方へ支援を行っています。セミナー当日はローラ・クリンガー博士のノースカロライナでの支援の実際や就労移行プログラム、SEARCH, T-STEPの検査概要や支援の考え方・捉え方を拝聴しました。

2日目の実践報告では、どれも身近なケースとして拝聴し、私が経験したことのない事例は漠然と支援の方略を把握している状況でしたが、明確なイメージを持つことができました。2日間のセミナーを通して、TEACCHに携わっている方々の支援の情熱や思いが言葉の端々から伝わり、私自身も利用者やご家族の為に学んだことを活かせるよう励んでいかなければ、と思い、日々切磋琢磨しています。

TEACCH コラボレーションセミナー2018に参加して

香川支部 高原 淳一

コラボレーションセミナーに参加して、まず感じることは、自閉症の方の支援に関して、同じような思いを共有できる人たちがこんなにいるという心強さです。私は学校現場の人間ですが、教育の世界では、自閉症の方の特性に合わせて支援をするということが、まだまだメインストリームにはなっていません。時に歯がゆい思いや、周囲からの向かい風を感じることもあります。でも、ここに来れば「仲間」に会える。隔年で開催されている実践研究大会と合わせて、そこにまず意義を感じます。(と同時に、自分の実践の未熟さを痛感する場でもあるわけですが…)

セミナーの1日目のクリンガー先生(TEACCH ディレクター)のお話では、様々な追跡調査の結果に基づいた、TEACCHでの新しい取り組みを知ることができました。取り組みだけではなく、なぜそれをしようと思ったのかを詳しく説明していただき、とても勉強になりました。また、2日目の実践発表では、日本の「仲間」の取り組みを具体的に聞くことができ、「よし、自分ももっと頑張ろう!」と励まされました。

まだ参加されたことのない方は、ぜひ参加されるといいですよ!

各支部活動計画

<北海道支部>

1. 会議(支部関係)

場所:北海道発達障害者支援センターあおいそら/北海道教育大学附属特別支援学校

件名	日時	内容
平成30年度 北海道支部総会	1.16	平成29年度事業報告 決算報告 監査報告 平成30年度事業計画(案) 予算(案)他
第1回運営委員会	3.6	企画研修会について
第2回運営委員会	5.15	企画研修会について
第3回運営委員会	7.3	企画研修会について
第4回運営委員会	9.11	企画研修会について・次年度計画について
第5回運営委員会	11.6	次年度計画について・平成31年度総会について

※平成31年度支部総会は、H31.1.15(火)開催予定

2. 勉強会・研修会

件名	日時	内容	講師
第1回	1.16(火)	学習会「発達障害と不登校 ～函館市での調査より～」 ※会員限定	北海道支部運営委員 高橋 和俊 氏
第2回	5.29(火)	実践報告会 ※会員限定	調整中
第3回	7.7(土)	「自閉症支援ワークショップ 5日間コース 実践報告会」 共催企画 ※オープン参加	自閉症 e サービス 中山 清司 氏
第4回	7.8(日)	講演会「強度行動障がいの支援(仮称)」 ※オープン参加	自閉症 e サービス 中山 清司 氏
第5回	8.28(火)	「自閉症支援ワークショップ 5日間コース 公開講座」 共催企画 ※オープン参加	香川大学教育学部 坂井 聡 氏 国立のぞみの園 志賀 利一 氏
第6回	10.2(火)	学習会「TEACCH の歴史と理念・ASD の理解と構造化支援」 ※会員限定	北海道支部運営委員 高橋和俊氏・片山智博氏
第7回	11.10(土) 11.11(日)	実践報告会・講演会「幼児期・学童期からの支援(仮称)」 ※オープン参加	横浜市東部地域療育センター 安倍 陽子 氏

3. 会報発行

件名	発行時期	内容
第1報	2月上旬	■平成30年度総会報告 ■学習会案内 ■実践報告者募集 他

第2報	4月	■ぷらう(本国会報)
第3報	6月上旬	■実践報告会報告 ■学習会案内 他
第4報	9月中旬	■学習会報告 ■学習会案内 他
第5報	10月	■ぷらう(本国会報)
第6報	11月下旬	■学習会報告 ■総会案内 他

＜石川支部＞

日時	支部主催の 事業内容	演題 講師	会場	会報	運営 委員会
1月28日 9:30～12:00	総会 DVD上映会	第16回総会 佐々木正美先生講演会 DVD上映会	金沢市教育プラザ	○	○
3月21日 9:30～12:00	連続セミナー 第1回	自閉症の理解と支援 「コミュニケーション」 坂井 聡 さん(香川大学教育学部教授)	金沢市教育プラザ	○	○
4月22日 9:30～12:00	第71回例会	「学校での実践について」 狩山 美鈴 さん(特別支援教育支援員)	金沢市教育プラザ	○	○
5月13日 9:30～12:00	連続セミナー 第2回	自閉症の理解と支援 「自閉症の特性理解」 諏訪 利明 さん(川崎医療福祉大学准教授)	石川県地場産業 振興センター	○	○
7月1日 9:30～12:00	能登例会	「学齢期の発達障害の二次障害」(仮) 平岩 幹男 さん(小児科医師)	奥能登行政センター 生涯学習センター	○	
7月22日 9:30～12:00	連続セミナー 第3回	自閉症の理解と支援 「具体的な支援の基本と実際」 笠合 竜明 さん(相談支援事業所「きずな」相談支援専門員) 益本 尚子 さん(能美市子ども発達支援センター)	金沢市教育プラザ	○	○
9月23日 9:30～12:00	第72回例会	「作業療法について」(仮) 安本 大樹 さん(金沢こども医療福祉センター相談員)	金沢市教育プラザ	○	○
10か11月 9:30～12:00	第73回例会	「就労について」パネルディスカッション パネラー (保護者・相談支援専門員)	金沢市教育プラザ	○	○

※10月 金沢医師会講演会・後援予定

＜東京支部＞

日時	研修内容・講師・会場	会報誌 発行	総会・ 役員会
1月27日(土) 10:00～16:30	基礎講座(平成29年度・冬の部) 「ASD支援の評価について」 講師:黒田美保先生 「ASDのコミュニケーションについて」 講師:門真一郎先生 会場:国立オリンピック記念青少年総合センター		

2月26日(月) 9:50~16:00	「高機能 ASD への認知行動療法 TEACCH は何を しているのか? -高機能の青年・成人への支援-」 講師:ローラ・クリンガー先生・内山登紀夫先生・黒田美保先生 会場:大正大学 7 号館 741 教室		
3月10日(土) 10:00~16:30	総会 & 特別講演会第 1 回事例検討会 ①「青年期の ASD の方との関わりを通して」 講師:新井豊吉先生 ②「青年期・成人期の ASD 支援で見落とされていること」 講師:片岡 聡先生 ③「新井先生・片岡先生対談」 会場:全水道会館	支部会報誌 「FUN」 第 28 号 発行	総会
4月21日(土)			役員会
6月10日(日) 時間未定	基礎講座① 「TEACCH プログラム概論」「ASD の特性・構造化」 講師:諏訪利明先生 会場:品川中小企業センター		
7月8日(日)			役員会
8月5日(日) 10:00~17:30	物理的構造化ワークショップ 講師:黒田美保先生 会場:多摩永山情報教育センター		
10月未定	事例報告会 講師:未定 会場:未定		役員会
11月10日 (土) 10:00~16:30	基礎講座② ①「ASD のアセスメント(評価)について」 ②「ASD のコミュニケーションについて」 講師:中山清司先生 会場:エムワイ会議室御茶ノ水	支部会報誌 「FUN」 第 29 号 発行	

＜神奈川支部＞

日時	内容	ご案内
2月24日(土) 25日(日)	TEACCH コラボレーションセミナー2018	京都烏丸 コンベンションホール
3月3日(土) 9:15~11:45	◆TEACCH プログラム研究会神奈川支部総会 【講演会】「自閉症の特性」 講師 諏訪 利明(代表)	ユニコムプラザ さがみはら
4月13日(金) 19:00~20:30	【海外視察報告】 「イギリス・アメリカの自閉症支援の実際」 講師 米澤 巧美(運営役員)	県央福祉社会会議室
5月11日(金) 19:00~20:30	【研修会】「評価について」 講師 高橋 隆志(運営役員)	県央福祉社会会議室

6月8日(金) 19:00~20:30	【研修会】「構造化について」 講師 米澤 巧美(運営役員)	県央福祉会会議室
7月13日(金) 19:00~20:30	【研修会】「コミュニケーションについて」 講師 山田 兼右(運営役員)	県央福祉会会議室
9月22日(土) 9:30~11:30	【講演会】「余暇と社会性」 講師 諏訪 利明(代表)	調整中
10月12日(金) 19:00~20:30	【研修会】「生活スキルについて」 講師 坂口 泰史(運営役員)	県央福祉会会議室
11月3日(土) 4日(日)	【ワークショップ】 テーマ「余暇」 詳細が決まり次第、お知らせいたします。	県央福祉会 ふきのとう向生舎
12月16日(日) 9:30~11:30	【講演会】「ASD 当事者が求める支援」 講師 ソルトさん(当事者)	おださがプラザ

※日程及び内容はあくまでも予定ですので、変更になる場合があります。

※基本の研修会については、**参加費 会員 200 円、非会員 1,000 円**です。

講演会の参加費については、参加費 会員 1,000 円、非会員 3,000 円です。

ワークショップの参加費等については、詳細が決まり次第お知らせいたします。

<主な会場> 社会福祉法人県央福祉会 法人会議室

神奈川県大和市中央2-3-19 ウエスト・ビルディング 4F(小田急・相鉄「大和」駅西口
を出て徒歩5分

<研修会等の内容・日程の変更・活動報告等の最新情報はブログ等でご確認ください。>

◆TEACCH プログラム研究会ブログ <http://teacch-kanagawa.blogspot.jp/>

◆Facebook ページ <https://www.facebook.com/TEACCHkanagawa/>

TEACCH プログラム研究会 神奈川支部事務局
〒242-0006 神奈川県大和市南林間 5-1-24 1号棟
児童発達支援事業 松ぼっくり内 山田
【TEL】080-3250-2115 【FAX】046-240-1008
【e-mail】teacchkanagawa@yahoo.co.jp

< 愛知支部 >

月	日	支部主催の事業・内容・講師	共催後援事業	会報発行	総会など
1	21	講演会 「評価から支援方針を設定して、支援に活かすには」 講師:早川 星朗氏(ロイヤルベルクリニック)		会報	総会 世話人会
2					
3					世話人会
4					世話人会
5	20	講演会 「自閉症支援に活かす応用行動分析の基礎」 講師:今本 繁氏(ABC 研究所)			世話人会

6				
7	1	実践報告会 講師:山田 理恵氏(つつじが丘こどもクリニック)		会報 世話人会
8				
9	15	講演会「フレームワークを活用した自閉症教育・支援(仮)」 講師:水野敦之氏(宮崎県中央発達障害者支援センター)		世話人会
10				
11				
12	22	講演会「TEACCH から学ぶ自閉症の理解と支援 2018」(仮) 講師:諏訪 利明氏(川崎医療福祉大学)		世話人会

＜山梨支部＞

本年度も、実践的な知識やスキルを習得したいという現場の要望に応え、かつ昨年度の実技研修での経験や反省も踏まえて、現任職員向けの研修の充実度向上に注力します。

【運営会議】

件名	日時	内容
第1回 運営委員会	2月3日(土)	① 今年度活動計画について ② 総会準備
総会	2月3日(土)	① 事業活動・決算報告 ② 事業計画・予算案 ③ 2019年実践研究大会について ④ その他
第2回 運営委員会	4月	実践研究大会&講演会の準備 等
第3回 運営委員会	6月	研修全般の準備, 本部理事会報告 等
第4回 運営委員会	10月	研修全般の準備, 見学会・勉強会の進捗 等
第5回 運営委員会	12月	年度振り返り, 総会準備 等

【勉強会・研修会】

件名	日時	内容
講演会	7月16日(月)	TEACCH 基礎講座13 信州大学教授 本田秀夫先生
現任職員向け研修	3月11日, 4月14日, 6月24日, 10月20日, 12月8日	行動上の問題へのアプローチ CAS 相談員 縄岡好晴氏
幼稚園・保育園の職員向け研修	11月	「幼稚園・保育園の先生たちの基礎講座 PART5」 横浜市東部地域療育センター 安倍陽子氏
施設見学	時期未定	・松戸育成会(予)

外部イベント	2月24～25日 8月	・コラボレーションセミナー(京都) ・自閉症カンファレンス ・トレーニングセミナー
ミニ勉強会	隔月開催予定 7月頃開催予定	・みんなで考えるASD支援 ・トレセミ経験者を中心とした勉強会(幼稚園職員)
出前講座	随時開催予定	

＜滋賀支部＞

例会①～③「自閉症スペクトラム支援の基礎講座」 講師:児童精神科医 門眞一郎先生

今年度は前半に、門眞一郎先生をお招きし、先生の長年のご経験を通して、改めて自閉症の理解と支援について、お話をいただくことになりました。一応、基礎講座ではありますが、内容は門先生におまかせし、存分に語っていただければと考えています。皆さん、ご期待ください。

なお、せっかくの機会ですので、できるだけ3回連続の参加をお勧めします。

日 時:例会① 5月18日(金) 例会② 6月29日(金) 例会③ 7月27日(金)

いずれも午後7時～8時45分

場 所:滋賀県男女共同参画センター(G-NETしが)視聴覚室

参加費:会員無料, 会員外1回 1,000円(3回連続の場合 2,500円)

例会④～⑥「冰山モデルを用いた事例検討会」

定例となった冰山モデルを用いた事例検討会です。検討したい事例がある方は、例会の1ヵ月前までに事務局までご連絡ください。

日 時:例会④ 9月28日(金) 例会⑤ 10月26日(金) 例会⑥ 11月16日(金)

いずれも午後7時～8時45分

場 所:滋賀県男女共同参画センター(G-NETしが) 研修室(予定)

参加費:会員無料, 会員外1回 500円

例会⑦ 実践報告「学校教育の現場から」

年度の最後に、昨年度、大変心に響く実践のお話をいただいた野畑先生に再度、実践を通したお話をいただきます。

日 時:12月8日(土) 午後1時半～4時

場 所:滋賀県男女共同参画センター(G-NETしが) 視聴覚室(予定)

参加費:会員無料, 会員外 1,000円

※参加申し込みはいずれも不要です。

※例会の日時、会場が変更になる場合があります。その場合は、ブログ、Facebookに掲載しますので、例会の前にチェックをお願いします。

※お問い合わせ:TEACCHプログラム研究会滋賀支部 事務局

FAX:077-562-8980 E-mail:teacchshiga@yahoo.co.jp

Blog:<http://blog.goo.ne.jp/teacchshiga>

Facebook:<http://www.facebook.com/teacchshiga>

＜京都支部＞

場所:京都社会福祉会館 会議室 *茶話会はお菓子を準備しています。

月	日	時間	事業・内容・講師	その他	共催後援事業
1月	20日	14:00～ 16:30	講演会:『自閉スペクトラム症とセクシュアリティ支援 ～性について ともに考える～』 講師:平木 真由美 氏 (京都市立総合支援学校 元養護教諭)	支部 総会	
2月	24～ 25日		TEACCHプログラム研究会 本部企画 TEACCHコラボレーションセミナー2018 『成人期の支援』 講師:ローラ・クリンガー 博士 (TEACCH Autism Program エグゼクティブディレクター) 場所:京都烏丸コンベンションホール		
3月					
4月					
5月				機関紙 発送	
6月	*日時については調整中		TEACCH ざっくばらん意見交換会&交流会 ～会員, 非会員問わず日ごろの思いを語りましょう～ *お菓子付き		超! 入門 自閉症 支援講座
7月					超! 入門 自閉症 支援講座
8月	4日 (土)	18:00～ 20:00	講演会&茶話会 講師(予定) 澤月子氏 南山城学園		
9月					超! 入門 自閉症 支援講座
10月				機関紙 発送	超! 入門 自閉症 支援講座
11月	3日 (土)	13:30～ 16:30	講演会&茶話会 講師(調整中)		超! 入門 自閉症 支援講座
12月					自閉症 セミナー

参加費:会員 無料 非会員 ¥500～¥1000(活動内容によって変わります)

京都支部活動の詳細は、機関紙・ブログにて随時お知らせします。

京都支部ブログ: <http://kteacch.blog.fc2.com/>

京都府下で開催される各種講座, 研修会, セミナー等の情報の発信も積極的に行います。他団体との共催等も企画中心!

京都府下で開催される各種講座, 研修会, セミナー等の日程も考慮し, 2月以降に確定させ, 機関紙・ブログにてお知らせします。

京都支部ブログ: <http://kteacch.blog.fc2.com/> blog.fc2.com/

＜大阪支部＞

テーマ「 Let`s サポートの達人 」

26年度:「TEACCHの理念を生かした実践を学び合う」

27年度:「自閉症スペクトラム障がいを取り巻く、今」

28年度:「振り返ろう！ASDの特性理解と支援」

29年度:「ASDのトータルケアを考える」

実施日	会議室	定員	講演者	演題
5/12(土)	403	102	講師:新澤 伸子 氏 (武庫川女子大学文学部心理社会福祉学科教授・TEACCH®上級コンサルタント)	TEACCHの理念
6/9(土)	301	132	講師:坂井 聡 氏 (香川大学教育学部特別支援教育教授)	コミュニケーションサポート
7/7(土)	403	102	講師:諏訪 利明 氏 (川崎医療福祉大学医療福祉学科准教授・TEACCH®上級コンサルタント)	支援者育成
9/8(土)	301	132	報告者:長富義隆 氏・須川明子 氏 (こどもディケアいずみ自閉症支援センターWAVE)	幼児期・学齢期サポート
10/8 (祝・月)	403	102	講師:梅永 雄二 氏 (早稲田大学教育・総合科学学術院教授・TEACCH®上級コンサルタント)	ライフスキルサポート
11/23 (祝・月)	301	132	報告者:大澤佳世子 氏・西峰佐登子 氏 (北摂杉の子会 サポートセンターPASSO)	思春期サポート
12/8(土)	301	132	報告者:宮川 知也 氏 (NPO 法人 ゆうとぴあ 西作業所・ショートステイにし 管理者)	成人期サポート

＜鳥取支部＞

月	日	時間	支部主催の事業・ 内容・講師	共催 後援事業	会報の 発行	総会, 世話 人会など
1月	21日					役員会 総会
2月						
3月	15日	18:45~20:00	TEACCH コラボレーションセミナー 2018 報告会			
4月	19日	18:45~20:00	【鳥取定例会】 勉強会			
5月	17日	18:45~20:00	【鳥取定例会】 実践報告(つむぎ)			
6月	21日	18:45~20:00	【鳥取定例会】 実践報告(明日葉)			

7月	19日	18:45~20:00	【鳥取定例会】 実践報告(かちみ園)			
8月	16日	18:45~20:00	【鳥取定例会】 実践報告(つむぎ)			
9月	20日	18:45~20:00	【鳥取定例会】 勉強会			
10月	18日	18:45~20:00	【鳥取定例会】 実践報告(つむぎ)			
11月	15日	18:45~20:00	【鳥取定例会】 実践報告(明日葉)			
12月	20日	19:00~20:30	【鳥取定例会】 座談会・次年度計画			

【境港定例会】特定非営利活動法人陽なた (0859)57-6240

【鳥取定例会】特定非営利活動法人スペル (0857)50-0631

第3木曜日 18:45~20:30

< 香川支部 >

日時	内容	講師
2月25日(日) 10:00~12:00	支部会員総会 子供が変わる！ホワイトボード活用術	西村健一 氏 (香川県立高松養護学校)
4月22日(日) 10:00~12:00	コラボレーションセミナー参加報告	高原淳一 氏 (香川県立香川中部養護学校)
5月20日(日) 10:00~12:00	TEACCH プログラムの基本	池上勝治 氏 (香川県立高松養護学校)
6月17日(日) 10:00~12:00	福祉施設での実践	松田卓也 氏 (みくに園)
7月15日(日) 10:00~12:00	感覚・運動面の視点からのアプローチ	森本将弘 氏 (香川県立香川中部養護学校)
8月19日(日) 10:00~12:00	夏休みに考えてみよう、卒後のこと	丸岡玲子 氏 (NPO 法人ふぁみりい NOTE)
10月21日(日) 13:00~16:00	公開講演会 「タイトル未定」	越智晴彦 氏 (児童発達支援センター ひよこ園)
11月18日(日) 10:00~12:00	よりよい支援のためのアセスメント	草原比呂志 氏 (あじの里地域生活支援センター)
12月16日(日) 10:00~12:00	座談会：自閉症への支援Q&A	繪内利啓 氏 (えないメンタルクリニック)

※ 内容・講師は変更する場合があります。最新情報はホームページでご確認下さい。

香川支部ホームページ <http://teacchkagawa.web.fc2.com/>

＜福岡支部＞

日時	活動内容	アドバイザー (すべて予定)	会場
4月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付		
5月19日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 テーマ:自閉症スペクトラムの特性 講師:川原孝幸氏 ○ぷらう送付	井上哲雄氏	西南学園大学
6月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付		
7月21日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 テーマ:構造化について 講師:内田博昭氏	井上哲雄氏	西南学園大学
9月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付		
10月21日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 テーマ:自閉症のコミュニケーション 講師:未定	井上哲雄氏	西南学園大学
11月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状・ぷらう送付		
12月15日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 記念講演(タイトル未定) 講師:未定 ○平成30年度総会	井上哲雄氏	西南学園大学

※ 自閉症スペクトラム実践研修会の実践報告者は随時募集します。

※ 日時・アドバイザー・会場については予定であるため、変更される場合もあります。

＜佐賀支部＞

月	日	内容・講師など	共催・後援	会場	備考
1	20日 (土)	定例学習会「就労支援について」 講師:それいゆ 五所朱里氏		ほほえみ館 視聴覚室	総会
2	17日 (土)	定例学習会「行動の困難について」 講師:それいゆ 黒木麻美氏		ほほえみ館 視聴覚室	
3	17日 (土)	保護者子育てのおはなし 講師:親の会保護者様による		ほほえみ館 視聴覚室	
4	7日 (土)	*定例学習会はおやすみです。 世界自閉症啓発デー佐賀イベント 主催:佐賀県自閉症協会 ・佐賀県自閉症協会ダンス部(他有志)のダンス発表 ・啓発映画「くちびるに歌を」 ・発達障害児・者の作品展示		アバンセホール 12:30~15:40	
5	19日 (土)	定例学習会「自閉症の特性と支援」① 講師: another planets 篠田朋子氏		ほほえみ館 視聴覚室	ぷらう
6	16日 (土)	定例学習会「自閉症の特性と支援」② 講師: another planets 本村亜希子氏		ほほえみ館 視聴覚室	

7	21日 (土)	定例学習会「自閉症の特性と支援」③ 講師: another planets 納富奈緒子氏	ほほえみ館 視聴覚室	
8	25日 (土)	定例学習会「事例検討会」インシデントプロセス法を用いて 幼児期・学齢期(特別支援学級・特別支援学校)から	ほほえみ館 和室	
9	15日 (土)	定例学習会「発達支援の現場から 余暇支援など」 講師: それいゆ	ほほえみ館 視聴覚室	
10	20日 (土)	定例学習会「教育の現場から みえてくる課題」 講師: 未定		代表者 会
11	未定	公開講演会の予定(会員・一般支援職・保護者むけに) テーマ・講師 未定		ぷらう
12	15日 (土)	定例学習会「TEACCHの理念と自閉スペクトラム症の支援」 講師: オーティズム・リサーチ・コンサルタンシー服巻智子氏		

平成31年度 1月19日: 定例学習会「行動の困難」
2月の定例学習会はおやすみ: TEACCH実践研究大会(山梨県)のため
3月16日: 定例学習会「相談支援の現場から みえてくる課題」

<大分支部>

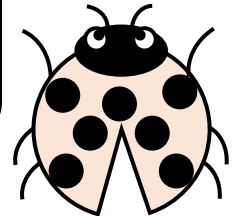
日時	会場	テーマと講師
1月28日(日) (10時-16時)	大分こども 療育センター	講演会① テーマ: RDI®(Relationship Development Intervention)について ～新たな療育の可能性～ 講師: 岸本真希子氏(岡山大学病院精神科神経科) 講師: 池下沙佑里氏(こども発達センターつばめ 代表)
2月24日(土) -25日(日)	京都府	TEACCH コラボレーションセミナー2018
3月11日(日) (10時-12時)	大分こども 療育センター	基礎講座① 10:00-11:00 テーマ: 親として、今、思うこと 講師: 平野昌美氏(大分県自閉症協会 副会長) 11:00-12:00 テーマ: 発達に障がいがある人の社会資源について 講師: 佐藤任孝氏 (大分県発達障がい者支援センターECOAL 支援課長)
5月13日(日) (10時-16時)	大分県 教育会館	講演会② テーマ: 感情コントロールの力はどのようにして育つのか? 講師: 大河原美以氏 (東京学芸大学総合教育科学系教育心理学講座 教授)
6月3日(日) (10時-16時)	ホルトホール 大会議室	講演会③ テーマ: 家庭や学校のできるトラウマの予防とケア 講師: 浅井咲子氏(Art of Therapy)
9月23日(日) (10時-16時)	大分県 教育会館	講演会④ テーマ: 自閉スペクトラム症をもつ人のアセスメントから実践の組立 講師: 笠合竜明氏(TEACCH プログラム研究会 石川県支部長)
11月18日 (日) (10時-16時)	未定	講演会⑤ テーマ: 発達が気になる子どものステキを伸ばす 講師: 加藤潔氏(国立障害者リハビリテーションセンター)

12月(未定)	大分こども療育センター	基礎講座② テーマ:自閉スペクトラム症の理解と支援について(仮) 講師:三ヶ田智弘氏(大分こども療育センター 院長)
---------	-------------	--

*基礎講座の時に、大分支部理事会開催予定。

TEACCHプログラム研究会 大分支部事務局からのお知らせ

これまでのホームページは、諸事情により更新ができなくなりました。
今後のTEACCHプログラム研究会大分支部に関する情報は、
blog.livedoor.jp/teacchoita/ で、更新します。



< 熊本支部 >

※日程、内容などは変更する場合があります。会場は、その都度ご案内いたします。

期 日	研修内容・講師		備 考
1月20日(土)	支部総会	総会	H30年度 会費納入
	講演会	内容『自閉症の方への就労支援～ジョブコーチの視点から～』 講師 山口洋平 氏(第二城南学園就労支援事業サービス管理責任者兼ジョブコーチ) 本村達弥 氏(就労支援センターワンピース看管理者)	
4月21日(土)	基礎講座	内容『自閉スペクトラム症の特性について』 講師 田邊 剛政 氏(熊本県北部発達障がい者支援センター わっふる)	* 定例運 営委員 会は、 毎例 会前後 を 予定。
7月21日(土)	実践講座	内容 保護者の方の話 講師 保護者 2名	
10月	コラボセミナー	未定	
平成31年1月	平成31年度 支部総会・ 講演会	総会・講演会	

第 14 回 TEACCH プログラム研究会

実践研究大会 IN 山梨 2019

～にじいろ～

山梨の実践研究大会では個性豊かな ASD の人たちの特性を理解し、一人ひとりに合った支援や子育てについて学び合う機会となるように企画しました。

1 日目のプログラムは会員外の方の参加も可能です。また、この機会に入会していただくと 2 日目のプログラムも参加でき、参加費も会員価格となります。会員の方はもちろん、非会員の方にもお声かけ頂き、大勢の方の参加お待ちしております。

日程：2019 年 2 月 10 日（日）午後/11 日（月・祭日）午前

会場：山梨県立図書館 イベントホール

〒400-0024 山梨県甲府市北口 2 丁目 8-1（甲府駅北口 徒歩 2 分）

参加費：会員 5,000 円（2 日分） 一般 3,000 円（初日）

プログラム

■1 日目

特別対談： ・ 本田秀夫先生（信州大学教授）
・ 平野真理子さん（卓球・平野美宇選手のお母様）

■2 日目

実践報告会

詳細は 2018 年秋に配布予定のチラシまたはホームページをご覧ください。
申込み方法もその際お知らせいたします。

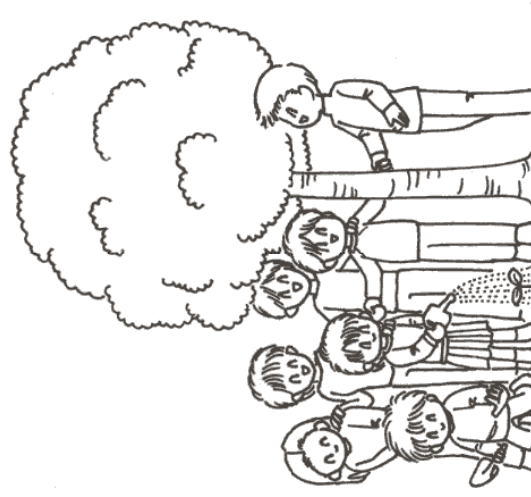
TEACCH プログラムについて

TEACCH とは、1960 年代よりアメリカ・ノースカロライナ州で発展してきた自閉症の人たちのための生活支援制度で、自閉症の人たちに彼らを取り巻く環境の意味を伝え、意味のあるコミュニケーションをしながら、彼らとの共存世界を目指そうとするプログラムです。それは自閉症の特性理解に大きな礎を置くもので、今や世界中に知られ、また実際に応用されるところとなっています。

研究会のこれまでの歩み

この TEACCH の指導者研修セミナーが 1989 年、日本で初めて開催されました。これを契機に (故) 佐々木正美先生を中心として作られたのが TEACCH プログラム研究会です。この時のセミナーの受講生たちは、セミナーを通して TEACCH の理念に触れ、まさに「目からうろこが落ちる」体験をしました。「自分の住む地域にこれを持ち帰って、まずできることから始めていこう。そして地域での実践を互いに共有する機会を定期的に持ち、皆で励まし合っていこう」TEACCH プログラム研究会のスタートの陰には、受講生たちのこのような共通の思いがありました。

以来二十余年。スタート当初は会員数 10 名足らずの本当に小さな会でしたが、各地区持ち回りの自主セミナーが毎年脈々と引き継がれていくうちに、会の趣旨に賛同する人が続々と増え、各地で新たな活動の展開を生みながら、現在では 1,958 名 (2017 年 12 月) が結集する会となりました。このようにこの研究会が発展してきたのは、時期は違っても、TEACCH の理念や援助技術に感銘を受けた人たちがずっと後押しをしてきてくださったからだと思います。

支部承認

新規支部の加入については、事務局までお問い合わせください。

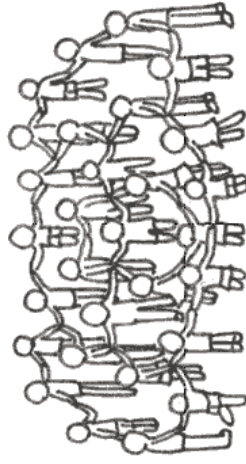
研究会の活動

TEACCH プログラム研究会は、「研究会の仲間で相互に研修し合う会」であることを大切にしており、2018年2月現在、全国で北は北海道から南は鹿児島まで、16の支部から成り立っています。研究会としての方向性・一貫性を保つために本部を置き、会全体としての事業の企画・運営に当たっています。本部主催の活動としては、隔年で行うコラボレーションセミナー（アメリカ TEACCH 部より講師を招き講演会および実践報告会を実施）と2~3月に行う実践研究大会、またトレーニング・セミナー、機関誌「ぷらう」の発行がその主なもので、また支部ごとに支部例会、講演会、セミナー等、支部独自の活動が活発に展開されています。

研究会の理念

これまでの研究会の歩みを振り返りながら、私たちはこれからも大切にしたいことを話し合う機会を持ってきました。いわば TEACCH プログラム研究会の理念ともいうべきものですが、それは次のような事柄です。

- ・ TEACCH に学び、自閉症の人たちの文化を大切にしながら手をつなごう。
- ・ 同じように、彼らをサポートする人たちも、互いを尊重しながら手をつなごう。
- ・ 他の政治的要素等をネットワーク内に持ち込まないようしよう。
- ・ できないと最初からあきらめず、身の回りでできることから始めよう。このような TEACCH プログラム研究会の趣旨にご賛同くださる方、ご入会を心よりお待ちしております。



組織

本部
支部

北海道支部、東京支部、神奈川支部、山梨支部、愛知支部、石川支部、滋賀支部、京都支部、大阪支部、鳥取支部、香川支部、福岡支部、大分支部、佐賀支部、熊本支部、鹿児島支部 の16支部
会員数：1,958名（2017年12月現在）

顧問

田川 元康 先生（大阪樟蔭女子大学教授）

入会方法

入会ご希望の方は、まず最寄りの支部事務局（どこかおわかりにならない方は、右記本部事務局までお問い合わせください）に、入会申込書をご提出ください。その後、年会費と入会金1,000円、計5,000円を振込み用紙が送られてきます。その振込み用紙に記入して入金をしてください。

会費

年会費は4,000円で、このうち2,000円が支部会費に、2,000円が本部会費に充てられます。

TEACCHプログラム研究会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、TEACCHプログラム研究会と称する。

(目的)

第2条 本会は、TEACCHプログラムから学ぶ活動を通して、会員の資質の向上や会員相互の協力、内外の関係機関との連携を図り、自閉症並びに発達障害のある人たちの幸せに寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

2. コラボレーションセミナーの開催
3. トレーニングセミナーの開催
4. 実践研究大会の開催
5. 機関誌、その他の刊行に関する事業
6. 関係機関・団体との連携
7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(事務所の所在地)

第4条 本会の所在地は、事務局所在地とする。

平成28年度～平成30年度事務局

〒862-0924

熊本市中央区帯山4丁目24番27号

下田 祐輝

第2章 会員

(会員の資格)

第5条 会員は、次の条件のいずれかに該当するものとする。

2. 自閉症並びに発達障害に関連する領域で、研究や実践に取り組んでいる者
3. 自閉症並びに発達障害のある人をもつ家族
4. 自閉症並びに発達障害に関連する領域の研究や実践、本人支援に関心のある者

(入退会)

第6条 入会を希望する者は、入会金1,000円と年会費と入会申込書を添えて支部に申し込まなければならない。

2. 退会する時は、本部事務局に届出なければならない。
3. 1年間、会費を滞納したものは退会とみなす。

(会費)

第7条 会員は以下に示す会費を納めなければならない。

2. 年会費4,000円（うち2,000円を支部会費、2,000円を本部会費とする）
3. 既納の会費は返納しない。

第3章 理事

(理事の定数)

第8条 本会には次の理事を置く。

2. 理事 15名以上（うち会長1名、副会長2名）

(理事の選出)

第9条 理事の選出は以下の通りとする。

2. 理事は各支部から選出された支部代表理事と、理事会において選出された本会を代表する常

任理事で構成される。

3. 会長、副会長を輩出した支部においては、別に支部を代表する理事をおくことができる。
4. 会長、副会長は理事会において互選する。
5. 常任理事は、理事総数の3分の2以上の同意を得て、会長が委嘱する。

(理事の任期)

第10条 理事の任期は以下の通りとする。

2. **支部理事の任期は2年とし、再任は2期を限度とする。ただし、役員は任期満了の場合においても、後任者が就任するまでは、前任者がその職務を行わなければならない。**
3. 常任理事の任期は事業の進捗状況を勘案し、理事会において決める。
4. 補欠により就任した理事の任期は、前任者の残任期間とする。

(理事の職務)

第11条 会長は本会を代表し、会務を総理する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。
3. 理事は理事会を組織し、会務を執行する。

第4章 組織

(本部)

第12条 本部は、**事務局及び理事**で構成する。

(支部)

第13条 各地域において支部を結成しようとする者は、会員名簿（10名以上）、会則、活動計画案を会長に提出し、理事会の承認を得るものとする。なお、総務・持ち回り理事会でも承認を得ることができる。新支部の周知は、総会と機関誌「ぶらう」で行う。

2. 支部は、毎年度の活動報告書を会長に提出しなければならない。

(総務委員会)

第14条 本会の企画運営を円滑にすすめるために、**総務委員会**を置く。

2. **総務委員会**は、会長、副会長、事務局担当理事、常任理事で構成される。

(事務局)

第15条 本会に事務局をおく。事務局を担当する支部は、理事会で決める。

2. 事務局は、3年で持ち回りとする。

(会計監査)

第16条 本会に会計監査役を置く。

2. 理事会において会員の中から会計監査役を選任する。
3. **会計監査役は本会の会計を監査する。**

(その他)

第17条 本会に**研修担当**、**広報担当**を置く他、必要に応じて**各種担当**を置くことができる。

2. **担当は**、理事会の決議を経て会長が委嘱する。

第5章 会議

(総会)

第18条 総会は会員をもって構成する。

2. 総会は最高議決機関とし、会長は毎年1回通常総会を招集しなければならない。
3. 会長が必要と認める時、又は会員の3分の2

の請求がある時は、臨時総会を開くことができる。

4. 総会の決議は、出席者の過半数をもってする。
5. 総会は以下の事項について議決する。
 - (1) 当該年度の事業報告並びに会計報告の承認
 - (2) 次年度における事業計画並びに会計予算の審議及び決議
 - (3) 理事にかかる件の承認
 - (4) その他運営に関する重要事項の審議

(理事会)

- 第19条 理事会は会長の招集により年1回以上開催する。
2. 理事会は理事総数の3分の2位上の出席がなければ、その議事を開き、議決することはできない。
 3. 理事会の議事は、理事総数の過半数で決定する。
 4. 理事会は本会の重要業務を処理する。

(総務委員会)

第20条 総務委員会は会長の招集により年1回以上開催する。

2. 総務委員会は、全体の運営方針を立案し理事会に諮る。

第6章 会計

(経費)

- 第21条 本会の経費は、会費、寄付金その他の収入によるものとする。
2. 理事会 及び総務委員会 の開催に要した交通費は、本会より支給する。

(予算及び決算)

第22条 本会の予算及び決算は、理事会の議決を経、総会の承認を得てこれを決定する。

(会計年度)

第23条 本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、同年12月31日に終わる。

第7章 会則の変更及び解散

(会則の変更及び解散)

第24条 本会則を変更し、または本会を解散するには、会員の3分の1以上又は理事会の過半数の提案により、総会において出席会員の3分の2以上の同意を得なければならない。

附則 この会則は、1989年4月1日より施行する。
1992年8月28日一部改正
1999年1月23日一部改正
2000年1月23日一部改正
2003年1月26日一部改正
2006年1月29日一部改正
2007年2月18日一部改正
2009年2月15日一部改正
2012年2月18日一部改正
2013年3月 2日一部改正
2016年2月20日一部改正
2018年2月24日一部改正

(研究会設立年月日)

1989年4月1日